14日 <i>全</i> 2 科目番号	礎情報	4E1630		科目区分	専門 / 選	±p		
1911年5 授業形態		実習		単位の種別と単位				
開設学科		<u>スロ</u> 電気電子]		対象学年	4	. 1		
<del>加設了!</del> 開設期		集中		週時間数	'			
教科書/教	教材							
旦当教員	į	川崎 仁晴,	,日比野 祐介					
到達目	標							
2. 海外の 3. 訪問先 4. 公用語 5. 国際的	の学校および もの人々との 吾としての英	)交流を通して き語の位置づけ	の相違をよく整理する。 , 異文化交流の実践を経験する。	•				
	<u> </u>		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベ	 ルの目安			
国際的なレベルでの情報収集技術 を習得する。			十分にできる。	ある程度できる。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	できない。		
毎外の学 目違をよ	校および企 く整理する	業の日本との。	十分にできる。	ある程度できる。		できない。		
訪問先の人々との交流を通して , 異文化交流の実践を経験する。			十分にできる。	ある程度できる。		できない。		
公用語としての英語の位置づけを 確認する。			十分にできる。	ある程度できる。		できない。		
国際的に活動する場合の諸手続や 実践技術を習得する。			十分にできる。	ある程度できる。		できない。		
学科の	到達目標」	項目との関係	系					
教育方:	法等							
	授業の進め方・方法		-			じて、実社会で必要となる素養を身		
	₤め方・方法	予講要業別の ・	林験・実践型形式の授業である。 : 4E教室および海外 : 実技 : ゴイダンス(趣旨説明と訪問者体 度航説明会(履修者の保護者に対 係行会社による海外渡航に関する 訪問先(国・学校・企業)の事 資料(渡航しおり)の作成(1時 研修の実施(2時間:30時間) 報告会の実施(2時間) ・ 事前調査資料(20%) 渡線	体験談を含む)と受講者( けして) 5講義(2時間)※パスス 高前調査(可能であれば語 時間×2回)	(履修者)の確定 ポート申請方法 <i>の</i> 学研修), 2 時	(1 時間) D説明を含む 間×3 回でカウント(自学自習を含む		
<b>主</b> 意点		予講授業 ・	*験・実践型形式の授業である。 : 4E教室および海外 : 実技 : ブイダンス(趣旨説明と訪問者体 意航説明会(履修者の保護者に対 旅行会社による海外渡航に関する 訪問先(国・学校・企業)の事 ート提出(夏休み終了時) 資料(渡航しおり)の作成(1 時 研修の実施(5 日間:3 0時間) : 事前調査資料(20%),渡舶 の指針:	体験談を含む)と受講者( けして) 5講義(2時間)※パスス 高前調査(可能であれば語 時間×2回)	(履修者)の確定 ポート申請方法 <i>の</i> 学研修), 2 時	(1 時間) D説明を含む 間×3 回でカウント(自学自習を含む		
主意点	属性・履信	予備 ・	林験・実践型形式の授業である。 : 4E教室および海外 : 実技 : ゴイダンス(趣旨説明と訪問者体 : 競航説明会(履修者の保護者に対 に会社による海外渡航に関する : 訪問先(国・学校・企業)の手 ート提出(夏休み終了時)資料(渡航しおり)の作成(1時研修の実施(5日間:30時間)報告会の実施(2時間) : 事前調査資料(20%),渡航),報告書(20%)により,総 の指針:	体験談を含む)と受講者 けして) 5講義(2時間)※パスス 5前調査(可能であれば語 時間×2回) 抗先での積極性及び態度等 合的に評価する。	(履修者)の確定 ポート申請方法 <i>の</i> 学研修), 2 時	(1 時間) D説明を含む 間×3 回でカウント(自学自習を含む		
主意点		予備 ・	*験・実践型形式の授業である。 : 4E教室および海外 : 実技 : ブイダンス(趣旨説明と訪問者体 意航説明会(履修者の保護者に対 旅行会社による海外渡航に関する 訪問先(国・学校・企業)の事 ート提出(夏休み終了時) 資料(渡航しおり)の作成(1 時 研修の実施(5 日間:3 0時間) : 事前調査資料(20%),渡舶 の指針:	体験談を含む)と受講者( けして) 5講義(2時間)※パスス 高前調査(可能であれば語 時間×2回)	(履修者)の確定 ポート申請方法 <i>の</i> 学研修), 2 時	(1時間) D説明を含む 間×3回でカウント(自学自習を含む		
注意点 受業の 』アクラ	属性・履f ティブラーコ	予備 ・	林験・実践型形式の授業である。 : 4E教室および海外 : 実技 : ゴイダンス(趣旨説明と訪問者体 : 競航説明会(履修者の保護者に対 に会社による海外渡航に関する : 訪問先(国・学校・企業)の手 ート提出(夏休み終了時)資料(渡航しおり)の作成(1時研修の実施(5日間:30時間)報告会の実施(2時間) : 事前調査資料(20%),渡航),報告書(20%)により,総 の指針:	体験談を含む)と受講者 けして) 5講義(2時間)※パスス 5前調査(可能であれば語 時間×2回) 抗先での積極性及び態度等 合的に評価する。	(履修者)の確定 ポート申請方法 <i>の</i> 学研修), 2 時	(1時間) D説明を含む 間×3回でカウント(自学自習を含む		
注意点 受業の 』アクラ	属性・履f ティブラーコ	予講授業月月月 8 レ 知室形内 9 10 月 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	*験・実践型形式の授業である。 : 4E教室および海外: 実技:	本験談を含む)と受講者 けして) 5講義(2時間)※パス7 言前調査(可能であれば語 時間×2回) 抗先での積極性及び態度等 合的に評価する。	(履修者)の確定 ポート申請方法 <i>の</i> 学研修), 2時 等(40%), 報台	(1時間) D説明を含む 間×3回でカウント(自学自習を含む 告会におけるプレゼンテーションと資		
主意点 受業の 』アクラ	属性・履f ティブラーコ	予講授業月月 8 レ 第 5 6 7 7 9 10 11 1 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	林験・実践型形式の授業である。  4E教室および海外 実技 ガイダンス(趣旨説明と訪問者体 度航説明会(履修者の保護者に対 で会社による海外渡航に関する 訪問先(夏休み終了時)の作成(1時間の実施(5日間:30時間) (1年間の実施(5日間:30時間) (1年間)・新告書(20%)により、総 の指針:	本験談を含む)と受講者 けして) 5講義(2時間)※パスパ 高前調査(可能であれば語 時間×2回) 抗先での積極性及び態度等 合的に評価する。	(履修者)の確定 ポート申請方法の 学研修), 2時 等(40%),報信	(1時間) D説明を含む 間×3回でカウント(自学自習を含む 告会におけるプレゼンテーションと資 図 実務経験のある教員による授業		
注意点 受業の 』アクラ	属性・履f ティブラーコ	予講授業月月 8 レ 対	*験・実践型形式の授業である。 : 4E教室および海外 : 実技 : ブイダンス (趣旨説明と訪問者体 : 裏技 : ・	本験談を含む)と受講者 (すして) 5講義 (2時間) ※パスス 言前調査 (可能であれば語 時間×2回) 抗先での積極性及び態度等 合的に評価する。	(履修者)の確定 ポート申請方法の 学研修), 2時 等(40%), 報告	(1時間) D説明を含む 間×3回でカウント(自学自習を含む こま会におけるプレゼンテーションと資金を含む		
注意点 受業の 』アクラ	属性・履f ティブラーコ	予講 デ講 デ講 デ講 デ講 デ語 デ語 デ語 デ語 デ語 デ語 デ語 デ語 デ語 デ語	林験・実践型形式の授業である。  4E教室および海外 実技 ガイダンス(趣旨説明と訪問者体 度航説明会(履修者の保護者に対 で会社による海外渡航に関する 訪問先(夏休み終了時)の作成(1時間の実施(5日間:30時間) (1年間の実施(5日間:30時間) (1年間)・新告書(20%)により、総 の指針:	本験談を含む)と受講者 (すして) 5講義 (2時間) ※パスパ語前調査 (可能であれば語時間×2回) が先での積極性及び態度等合的に評価する。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応	(履修者)の確定 ポート申請方法の 学研修), 2時 等(40%),報信	(1時間) D説明を含む 間×3回でカウント(自学自習を含む ま会におけるプレゼンテーションと資 図 実務経験のある教員による授業 理解を深める。 理解を深める。		
注意点 受業の 』アクラ	属性・履f ティブラーコ	予講報: デ講教業月月月~→月月月 10月 11月 (100%) 10月 11月 (100%) 10月 11月 (100%) 11月 (100%) 110%) 110%) 110%) 110%) 110%) 110%) 110%) 110%) 110%) 110%		本験談を含む)と受講者 (すして) 5 講義 (2 時間) ※パス/ 5 講義 (2 時間) ※パス/ 5 前調査 (可能であれば語 5 間× 2 回) が	(履修者)の確定 ポート申請方法の 学研修), 2時 等(40%), 報告 事件変航について 毎外渡航について	(1時間) D説明を含む 間×3回でカウント(自学自習を含む こま会におけるプレゼンテーションと資金といる。 こ理解を深める。 正理解を深める。		
注意点 受業の 』アクラ	属性・履(ティブラー)	予講授授 ・	*験・実践型形式の授業である。 : 4E教室および海外: 実技 : 14F教室および海外: 実技 : 15 (	本験談を含む)と受講者 (すして) 5 講義 (2 時間) ※パス/ 5 請義 (2 時間) ※パス/ 5 前調査 (可能であれば語 5 間× 2 回) が	(履修者)の確定 ポート申請方法の ま学研修), 2時 等(40%), 報告 毎外渡航について 毎外渡航について 方問先について 功率的な計画を立 見地の文化体験や	(1時間) D説明を含む 間×3回でカウント(自学自習を含む ま会におけるプレゼンテーションと資 図 実務経験のある教員による授業 理解を深める。 理解を深める。 正理解を深める。 正理解を深める。		
主意点 受業の 』アクラ	属性・履f ティブラーコ	<ul> <li>予講授授名 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</li></ul>		本験談を含む)と受講者 (すして) 5 講義 (2 時間) ※パス/ 5 請義 (2 時間) ※パス/ 5 前調査 (可能であれば語 5 間× 2 回) が	(履修者)の確定 ポート申請方法の ま学研修), 2時 第一年 第一年 第一年 第一年 第一年 第一年 第一年 第一年 第一年 第一年	(1時間) D説明を含む 間×3回でカウント(自学自習を含む ま会におけるプレゼンテーションと資		
主意点 受業の マクラ	属性・履(ティブラー)	予講授授4月月~→月月月 「日本 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「		本験談を含む)と受講者 (すして) 5 講義 (2 時間) ※パス/ 言前調査 (可能であれば語時間×2回) 流先での積極性及び態度等合的に評価する。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔接業対応 □ □ 遠隔接業対応 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	(履修者)の確定 ポート申請方法の ポート申請方法の ま学研修), 2時 等(40%), 報告 毎外渡航について 毎外渡航について 方間先について 方間先について 別地の文化体験や いて理解する。 見地の理解する。	(1時間) D説明を含む 間×3回でカウント(自学自習を含む		
主意点 受業の マクラ	属性・履(ティブラー)	<ul> <li>予講授授45月月~→月月月</li></ul>		本験談を含む)と受講者 (すして) 5講義 (2時間) ※パスパ語前調査 (可能であれば語時間×2回) が先での積極性及び態度等合的に評価する。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ □ 遠隔投業対応 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	(履修者)の確定 ポート申請方法の ま学研修), 2時 第一条(40%), 報告 第一条(40%), 和》(40%), 和》(40%	(1時間) D説明を含む 間×3回でカウント(自学自習を含む こま会におけるプレゼンテーションと資		
主意点 受業の。 ② アクラ	属性・履(ティブラー)	<ul> <li>予講授授45月月~→月月月</li></ul>		本験談を含む)と受講者 (すして) 5講義 (2時間) ※パスパ語前調査 (可能であれば語時間×2回) 流先での積極性及び態度等合的に評価する。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 環間×2回) □ 環	(履修者)の確定 ポート申請方法の ま学研修), 2時 第一条(40%), 報告 第一条(40%), 程序(40%), 程序(40%	(1時間) D説明を含む 間×3回でカウント(自学自習を含む		
注意点	属性・履f ティブラーコ 画 1stQ	<ul> <li>予講授授名 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</li></ul>		体験談を含む)と受講者 (1) (2) 時間)※パス/   5講義 (2) 時間)※パス/   5請議 (2) 時間)※パス/   5前調査 (可能であれば語   5時間×2回)   1   5時間×2回)   1   5時間×2回)   1   5時間×2回)   5   5月間×2回)   5月間×2回)	(履修者)の確定 ポート時 清学研修), 2時 第一ト時 第一ト時 第一ト時 第一ト時 第一ト時 第一ト時 第一ト時 第一ト	(1時間) D説明を含む 間×3回でカウント (自学自習を含む		
主意点 受業の アクラ	属性・履(ティブラー)	<ul> <li>予講授授名</li> <li>有機業業月月月へ→月月月</li> <li>10月月 (10月月 た)</li> <li>10月月 (10月月 た)</li> <li>10月 (10</li></ul>	検験・実践型形式の授業である。   4E教室および海外	体験談を含む)と受講者 (1) (2) 時間)※パスパ語前調査(可能であれば語時間×2回) 前先での積極性及び態度等合的に評価する。  □ 遠隔授業対応  □ 遠隔授業対応  □ 遠隔授業対応  □ 環境・ 対応  □ 環境・ 対域・ 対域・ 対域・ 対域・ 対域・ 対域・ 対域・ 対域・ 対域・ 対域	(履修者)の確定 ポートでは、2時 ポートでは、2時 等(40%),報信 事件をは、40%),報信 の可能にいてきない。 毎外渡航について理 が見れての理文解文解ではずれます。 見いてのがまれます。 見いてもない。 見いではないですがます。 見いではないですがます。 見いではないですがます。 見いではないですがますが、また。 にいてきないですがますが、また。 見いではないですがますが、また。 見いではないですが、また。 見いではないですが、また。 にいてきないですが、また。 見いではないですが、また。 にいてきないですが、また。 見いではないですが、また。 にいてきないできないですが、また。 にいてきないですが、また。 にいてきないですが、また。 にいてきないですが、また。 にいてきないできないできないできないできないできないできないできないできないできないで	(1時間) D説明を含む 間×3回でカウント(自学自習を含む		

		13週	研修の実施			現地のいて理	文化体験や人々との交流 解する。	流を通して, 異文化につ
		14週	研修の実施			現地のいて理	文化体験や人々との交流 解する。	記を通して, 異文化につ
		15週	報告会の実施			研修の	成果をまとめる。	
		16週						
後期		1週						
		2週						
		3週						
	3rdQ	4週						
	3raQ	5週						
		6週						
		7週						
		8週						
		9週						
	4thQ	10週						
		11週						
		12週						
		13週						
		14週						
		15週						
		16週						
評価割	合							
	事前調査資料		渡航先での積極性及び 態度等	報告会におけるプレゼ ンテーションと資料		報告書	合計	
総合評価割合		20		40	20		20	100
基礎・専門的能力		20		0	0		0	20
分野横断的能力		0		40	20		20	80